

世界的な規模で阿蘇が愛され守られるよう

「阿蘇ジオパーク推進協議会」設立



世界最大級のカルデラと周辺地域を世界ジオパークに！と、ジオパーク登録に向けた推進協議会が5月7日発足しました。協議会会員には熊本県阿蘇地域振興局長はじめ阿蘇郡市の市町村長、観光協会、自然環境に関する団体長など28人、顧問として熊本大学名誉教授、環境省阿蘇事務所長、熊本県文化課長など6人、そして会長には佐藤阿蘇市長が就任しました。

世界ジオパーク候補地「洞爺湖周辺地域、糸魚川、島原半島」
日本ジオパーク認定地「洞爺湖周辺地域、糸魚川、島原半島、アポイ岳、南アルプス、山陰海岸、室戸」で、そのほか阿蘇市同様、ジオパークに向け取り組みを始めた地域は19ヶ所あります。今後、同協議会では、登録の条件とされる事柄に向け、各分野で活動がスタートします。ジオパークについて詳しくは、同協議会事務局の阿蘇地域振興デザインセンター ☎22-4801までお問い合わせください。



▲阿蘇いこいの村で行われた設立総会の様子

新しい選挙管理委員が選任されました

3月24日の阿蘇市議会において、新しい選挙管理委員が選任されました。下記のとおりです。

職名	氏名	備考
選挙管理委員長	児玉勝	再任
選挙管理委員長職務代理者	山口保幸	新任
選挙管理委員	菊池忠孝	新任
選挙管理委員	佐藤照司	新任

選挙が公正かつ適正に行われるよう委員一同職務の執行にあたりますので、市民の皆様のご協力をお願いします。



▲左から児玉氏、山口氏、菊池氏、佐藤氏

阿蘇中央病院で 新型インフルエンザ対策研修実施



国内で広がりを見せている新型インフルエンザに備え、阿蘇地域で唯一「感染症指定」を受け、阿蘇中央病院で、医師、看護師らスタッフが緊急の研修会を実施しました。

講演にあたったのは、県内でも感染症に精通した国立感染症研究所客員研究員・現阿蘇中央病院非常勤医師山口一成氏で、「新型インフルエンザは感染力は強いが病原性は低い。早めに治療すればこれまでのインフルエンザとあまり変わらない」と話し、感染症や患者の受け入れについて説明されました。

なお、山口医師は毎週、月曜と火曜に阿蘇中央病院で内科を診療しています、ご相談ください。